



平成 24 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 太陽毛絲紡績株式会社  
グリーンシート銘柄 オーディナリー  
コード番号 3211  
本社所在地 埼玉県川口市上青木 5-5-9  
問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長  
氏 名 山中 庸  
TEL (048)265-2414

平成 24 年 9 月期中間決算における特別損失の計上、および中間(連結・個別)・通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 9 月期(平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)中間決算において、特別損失を計上いたしましたことをお知らせいたします。また、平成 23 年 11 月 18 日付当社「平成 23 年 9 月期決算短信」および平成 24 年 1 月 31 日付当社「平成 24 年 9 月期第 1 四半期決算短信(連結)」にて発表いたしました平成 24 年 9 月期中間(連結・個別)・通期(連結・個別)業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 9 月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	330	2	12	3円36銭
今回修正 (B)	405	9	17	4円80銭
増減額 (B - A)	75	7	5	-
増減率	22.7%	- %	- %	-
(ご参考)前中間期実績(平成 23 年 9 月期)	362	24	95	26円69銭

(2) 通期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	930	30	20	5円60銭
今回修正 (B)	1,000	35	27	7円56銭
増減額 (B - A)	70	5	7	-
増減率	7.5%	16.7%	35.0%	-
(ご参考)前期実績(平成 23 年 9 月期)	930	11	69	19円39銭

## 2. 平成 24 年 9 月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	300	14	24	6円72銭
今回修正 (B)	364	12	19	5円35銭
増減額 (B - A)	64	2	5	-
増減率	21.3%	- %	- %	-
(ご参考)前中間期実績(平成23年9月期)	329	14	85	23円97銭

(2) 通期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	860	25	15	4円20銭
今回修正 (B)	915	27	20	5円60銭
増減額 (B - A)	55	2	5	-
増減率	6.4%	8.0%	33.3%	-
(ご参考)前期実績(平成23年9月期)	861	10	81	22円94銭

## 3. 修正理由

< 連結 >

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災による景況後退局面から、緩やかに持ち直しの傾向が見られたものの、世界経済は欧州債務危機などを背景とした減速の様相を示しており、国内経済もデフレ・円高の長期化、原油価格の高騰さらには雇用・所得環境に改善の遅れから、個人消費の低迷が続くなど、不透明感を払拭できない状況のままとなっております。当社グループの当中間連結業績につきましては、個人消費の低迷するなか、天候不順による春物素材・衣料の動きが低調となるなど、厳しい事業環境が続きました。このような経営環境のなか、収益体質の改善、財務体質の強化、新規商品の開発と市場開拓、さらには新しい組織形態の構築を目指し、業務の効率化による経費の削減と製造コストの低減に努めるとともに事業資源の効率的な運用を計ってまいりました。繊維事業においては、主原料の羊毛をはじめカシミア・アンゴラなどの価格が高騰した状態で推移したなか、展開素材の集約に努め、新規顧客の開拓および既存顧客の取引拡大に注力しました結果、売上高は、当初計画を上回りましたが、経常利益、当期純利益は前中間期実績に比べてそれぞれで改善したものの当初計画までには達しない結果となりました。

なお、特別損失として、資産の健全化の観点から、たな卸資産評価損 6 百万円、たな卸資産廃棄損 1 百万円をそれぞれ特別損失として計上いたしました。

< 個別 >

個別業績予想につきましては、上記連結とほぼ同様の理由であります。売上高および経常利益、当期純利益ともに当初計画を上回りました。なお、特別損失は、上記連結と同様の内容と金額を計上いたしました。

以上